

鈴木喬ガバナー便り No,18

RI 会長メッセージ 12月



K.R. ラビンドラン
2015-16 年度会長

カナダ軍がオランダを解放した 1945 年、この国は貧困の窮地にありました。人びとは飢えに苦しみ、中には子どもたちの姿も。悲惨な状況を目の当たりにし、心を痛めたカナダ軍兵卒の 4 人は、オランダの子どもたちに、どうかして特別なクリスマスプレゼントしようと思立ちました。

4 人は仲間の兵士にカンパを募り、チョコレート、ガム、キャンディー、漫画などを集めて回りました。軍務の間には、木材と針金でおもちゃのトラックを作り、配給タバコを売ったお金で縫いぐるみを買いました。それぞれが母国カナダに残した家族を想いつつ、今自分たちにできるのは駐在オランダの子どもたちを笑顔にすることだと信じて、クリスマスの準備に勤しみました。

12 月 1 日には、プレゼントでいっぱい袋が 4 つでき、25 日が来るのを心待ちにしていました。しかしそのわずか 2 日後、カナダ軍はクリスマスよりもずっと前の 12 月 6 日に母国へ引き上げるとの指令を受けたのです。カナダに帰るのを嬉しく思いながらも、複雑な心境の兵卒たちは、用意したプレゼントを現地の孤児院に預け、クリスマスに子どもたちに開けてもらうことを決めました。

オランダを立つ前夜、4 人の兵卒は孤児院へ向かいました。そのうちの一人は白ひげを付け、赤い帽子をかぶり、クリスマスまでまだ数週間ありましたが、途上で教会の鐘が鳴り、家々には明かりの装飾がついていました。ブーツで雪道を歩き進め、ようやく孤児院に到着すると、窓から 24 人の子どもたちが食堂に集まっているのが見えました。戦争が終わって数カ月が経っていましたが、まだ十分な食べ物がありません。わずかな食事を前に、子どもたちの顔は青白く、やせ細って見えました。

サンタクロースに扮した兵卒が、力強く、ドアを 3 回ノックすると、まるで魔法のように、子どもたちのざわめきが瞬時に静まりました。ドアを出てきた神父は驚きを隠せない様子。後を続いて出てきた子どもたちは喜びの歓声とともに、サンタクロースの格好をした兵卒の元へ駆け寄りました。クリスマスまで 3 週間ありましたが、実はオランダの「シンタクラス」は、聖シンタクラスの前日、12 月 5 日にやってくるのです。

それから 1 時間ほど、喜びいっぱいの大騒ぎでした。子どもたちはプレゼントを開けて大喜びし、お菓子を楽しみ、お人形を大切に抱きしめました。最後のおもちゃのトラックとチョコレートは、最後まで辛抱強く順番を待っていた小さな男の子の手に渡りました。その子は兵卒たちにお礼を言うと、次は神父に向かってオランダ語で何かをささやきました。神父が笑顔で相槌を打つを見て、兵卒の一人が尋ねました。「その子は今何て？」

神父の目には涙がこみ上げています。「"きつと来てくれるって信じてた"とあの子は言いました」

人びとに喜びをもたらすとき、私たち自身が犠牲にすることは何事ありません。それどころか、喜びは何倍にも増えます。贈り物を贈りあうこのシーズン、私たちが受けた贈り物を、さらにほかの人と共有することで、喜びを何倍にも増やそうではありませんか。クラブ、そしてロータリー財団を通じて、思いやり、優しさ、寛容さを示し、世界へのプレゼントになりましょう。

沖縄訪問

11 月で在京 59 クラブのガバナー公式訪問、在京各分区分のインターシティーミーティングが終わり、12 月から沖縄 11 クラブのガバナー公式訪問が始まりました。7 日 (月) は宮古島ロータリークラブ、8 日 (火) は沖縄米山奨学生選考試験、ロータリー財団補助金面接、9 日 (水) 午前中に沖縄クラブ奉仕委員長会議、職業奉仕委員長会議、社会奉仕委員長会議、国際奉仕委員長会議、青少年奉仕委員長会議があり、当クラブからは島山地区インターアクト委員長も出席しました。午後からは沖縄インターシティーミーティングが開催されました。鈴木喬ガバナー、坂田修一地区幹事は 6 日 (日) より現地入りしておりました。



ガバナー令夫人
第 2660 地区大会
(大阪) 出席

RI 会長代理
水野 P G

本日の卓話

「希望の風奨学金」
地区ロータリー希望の風奨学金支援特別委員長
松坂順一氏
紹介者 矢島君

次回予定 12/17

年忘れ家族親睦会

WEEKLY REPORT



葛飾北斎描く千住より眺望の富士

例会日 木曜日 12:30~13:30
例会場 上野精養軒 TEL.03 (3821) 2181
事務所 〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-1-5A ビル 6F
TEL.03 (5637) 4602 FAX.03 (5637) 4611
http://www.tokyo-kohoku-rc.org

東京江北ロータリークラブ

会長 戸塚 誠一郎 / 会長エレクト 吉田 正行
幹事 張替 俊光 / 副幹事 谷茂岡 昭
会報・IT委員長 羅山 能弘



Rotary

RI 会長
ラビンドラン

ロータリー
思いをかたちに

東京江北RC 会長
戸塚 誠一郎

第 2715 回 2015 年 12 月 10 日

2015 年 12 月 3 日 第 2714 回例会報告

点 鐘
国歌 「君が代」
ロータリーソング 「奉仕の理想」
来 賓

- 年次総会のため来賓なし

会長報告

- 本日の理事会にて夏期交換 50 周年記念のウォールナットクリーク RC とのハワイジョイントミーティング準備委員会が佐藤徹実行委員長のもと、正式に立ち上がりました。詳細に関しましては逐次ご報告させていただきます。

幹事報告

- 12 月のロータリーレート 1 \$ = 120 円
- 本日、13 時よりクラブ年次総会を開催します。議事次第は皆様のポストに配布しております。よろしくお願い致します。

委員会報告

- 先日ご案内致しました。ソウル国際大会への申込み期日が 12 月 10 日となっております。まだ、ご返信頂いていない方は、ご返信お願い致します。

出席報告 会員 57 名中 38 名 出席率 67%

前々回訂正出席率 97.87% (11/26)

ニコニコ (●^o^●) ボックス

- お誕生祝 …谷中君
- 奥様お誕生祝 …樽澤君 張替君
- ご結婚祝 …鈴木(寿)君 戸塚君
- 戸塚会長 張替幹事…師走に入り朝晩の冷え込みが益々厳しくなってきました、皆様お風邪を召されませぬようお気を付け下さい。本日はクラブ年次総会です。宜しくお願い致します。
- 吉田君 谷茂岡君…インフルエンザが流行する季節です。皆様、ご自愛下さい。
- SAA 一同 (平岩君 矢島君 芝君 中山君 今井君 高橋君 吉田(潤)君) …阿部さん、SAA 月担当ごころう様でした。今月は今井さんです。皆様、ご協力よろしくお願い申し上げます。

合計 33,000 円 累計 1,131,000 円



2015-16 年度
年忘れ家族親睦会

12 月 17 日 (木)

上野精養軒 櫻の間 3 階

例会 17 時 30 分~

家族親睦会 18 時 00 分~



日 時：2015年12月 3日 (木)
13:00～

場 所：上野精養軒 2階 藤の間

1. 開 会：戸塚会長
2. 議長選出：戸塚会長を議長に選出
3. 議 題：

第1号議案 会長ノミニー選出の件
芝久雄会員を
会長ノミニーに選出

第2号議案 ①次年度理事選出の件
資料①のとおり選出

②次年度役員選出の件
資料②のとおり選出

4. 閉 会：戸塚会長

本年度の年次総会は、当クラブ会員57名中出席者38名、委任状提出者9名で定足数を満たしており、つつがなく議事が進行して終了いたしました。

幹事 張替俊光

第2号議案(決定)資料① 次年度理事

2016年～17年度 理事

- * 理事 (会 長) 吉田 正行
- * 理事 (副 会 長) 海老沼 孝二
- * 理事 (クラブ奉仕) 芝 久 雄
- * 理事 (職 業 奉 仕) 張 替 俊 光
- * 理事 (社 会 奉 仕) 村 上 正 明
- * 理事 (国 際 奉 仕) 伊 藤 隆
- * 理事 (青 少 年 奉 仕) 岩 邊 俊 久
- * 理事 (親 睦 活 動) 人 見 真 吾

第2号議案(決定)資料② 次年度役員

2016年～17年度 役員

- * 会 長 吉田 正行
- * 副 会 長 海老沼 孝二
- * 会長エレクト 芝 久 雄
- * 幹 事 谷 茂 岡 昭
- * 会 計 谷 中 義 雄
- * S A A 樽 澤 忠 正
- * 直 前 会 長 戸 塚 誠 一 郎
- * 副 幹 事 塚 越 伸 博



東京江北ロータリークラブ 2016-17 年度 理事役員

RI 会長エレクト



ジョン F. ジャーム
2016-17 年度会長

CHATTANOOGA
ロータリークラブ所属
米国 (テネシー州)

エンジニアリングのコンサルティング会社、Campbell and Associates 社の理事兼 CEO。同社に入社前は空軍に 4 年間在籍。Public Education Foundation と Orange Grove Center の理事および執行委員、Blood Assurance の理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundation の創設者および財務長、Tennessee Jaycee 財団の会長。

1970 年に「Tennessee Young Man of the Year」賞、1986 年に「Engineer of the Year」賞、1992 年に「Volunteer Fundraiser of the Year」賞、2009 年に「Tennessee Community Organizations Volunteer of the Year」賞を受賞。そのほか、「Boy Scouts Silver Beaver Award」賞と「Arthritis Foundation Circle of Hope Award」賞を受賞し、2013 年に米政府より「Champion of Change」として表彰される。

1976 年にロータリー入会。以来、RI 副会長、理事、財団管理委員と副管理委員長、財団管理委員長エイド、ロータリー2億ドルのチャレンジ委員長、RI 理事会執行委員、RI 会長エイド、規定審議会代表議員および議長、会員増強ゾーンコーディネーター、多数の委員会委員長、エリアコーディネーター、RI 研修リーダー、地区ガバナーを歴任。

RI 超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞。ジュディ夫人とともに財団のベネファクターおよびアーチ・クラフ・ソサエティ会員。お二人には 4 人のお子さんと 6 人のお孫さんがいます。

ロータリーの発展には、会員が、現在そして将来の課題と機会に「情熱と粘り強さ、そして何よりも高潔さをもって取り組まなければならない」とジャーム氏。「私が心に描くロータリーは、ポリオ撲滅の達成、会員増強とアイデンティティの確立、クラブの活性化、そして、ロータリーの未来を担う若者たちとの協力など、大胆に創造性をもって取り組む団体です。国際ロータリーとロータリー財団が6つの重点分野での活動を通じて、そのパートナーシップをより緊密で強固なものとする上で、2016-17 年度がまたとない機会になると考えています」

ジャーム氏が目指すこと、それは「ロータリーとは何ですか」という質問を誰からも聞かれなくなることです。

「ロータリアンとはどんな人びとなのか、ロータリーがこれまで世界各地や国際レベルでどのような偉業を成し遂げてきたかを、より積極的かつ効果的に伝えることで、ロータリーの公共イメージは必ず向上します。そうなれば、「ロータリーとは何ですか」といった質問を耳にすることはなくなるはず」

世界経済の先行きが見えない現在、ロータリーは、会員の経済的負担を抑えるとともに、「資金を効果的、効率的に活用する方法を常に考えていく」必要がある、とジャーム氏は述べます。

エンジニアであるジャーム氏は、空軍に4年間在籍した後、1965年、エンジニアリングのコンサルティング会社であるCampbell and Associatesに入社。現在は、同社の取締役会長および最高経営責任者 (CEO) を務めています。また、Public Education Foundation、Orange Grove Center 社、Blood Assurance 社など、複数団体の理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundation の創設者および財務長、Tennessee Jaycee 財団の会長も務めています。

1970年には、テネシー州のヤングマン・オブ・ザ・イヤーを受賞したほか、1992年には、エンジニア・オブ・ザ・イヤーとボランティア・ファンドレイザー・オブ・ザ・イヤーに輝いています。

1976年にロータリークラブに入会して以来、RI 副会長、理事、財団管理委員と副管理委員長、ロータリー2億ドルのチャレンジ委員長、RI 会長エイドなどを歴任してきました。また、ロータリー超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞し、ジュディ夫人とともに、夫婦でアーチ・クラフ・ソサエティのメンバーとなっています。

「ロータリーは、伝統と価値観の範囲内で、革新を通じて、急速に変化する世界に対応します」とジャーム氏。「適切な新しいテクノロジーやソーシャルメディアを積極的に取り入れ、新たな機会を活用すれば、ロータリーに対する一般の人びとの理解が深まっていくでしょう」

RI 会長指名委員会の委員は、以下の方々です (敬称略)：T.D. グライリー (委員長、米国)、ホセ・アントニオ F. アンティオリオ (ブラジル)、キース・バーナード・ジョーンズ氏 (英国)、ケネス R. ボイド (米国)、マイケル・コラサード・シニア (米国)、ヤッシュ・バル・ダス (インド)、ジョン・エバーハード (カナダ)、バリー・マシソン (ノルウェー)、シャカール・メータ (インド)、カルロ・モンティチェリ (イタリア)、サミュエル・オウオリ (ウガンダ)、小沢一彦 (日本)、エックハルト・パンデル (ドイツ)、朴 柱寅 (韓国)、ジョン C. スマージ (米国)、バリー E. トンプソン (オーストラリア)、トーマス M. ソーフィンソン (米国)。